

ネクスト プログラム

ってナニ?

ネクストプログラムとは？

学部の枠を越えて、興味がある分野を専門的に学ぶことができる自由参加型の特別教育プログラム。学習したカリキュラムは単位として認定される。

医学部臨床心理を学ぶ私は防災士を！



ネクストプログラム
情報はこちらから

Q A

参加学生に直接聞いてみよう！

Q: 参加のきっかけは？

A: 臨床心理学を専攻したのは、災害現場で活躍する心理職をテレビで見ることがきっかけ。たとえ町が復興しても、心の問題を抱えている被災者がいることを知り、そのような方を助ける仕事をしたと思うようになりました。自分の専攻では、災害を取り上げる授業がほとんどないので、現場で活躍できる人材になるためにネクストプログラム参加を決めました。防災士の資格が取得できるのも魅力的でした。

Q: プログラムの魅力って？

A: 座学だけではなく、実際に被災地に赴き支援できるのが魅力。私は、西日本豪雨で被災した宇和島を定期的に訪問しています。現地に通うと自分足らない部分が見えてきて学習意欲に繋がるし、自分の専攻と災害の繋がりを考える機会となって視野が広がりました。学部を越えてメンバーが集まっているので、お互いに刺激を受けながら活動しています。

Q: 能登で学んだことは？

A: これまでは被災して何年か経った地域しか行ったことがありませんでした



Q: これからの目標は？

A: 能登がきっかけで、被災者でありながら支援者でもある人たちの心理に関心をもつようになりました。臨床心理学では、さまざまな職種で協力して、援助を必要としている人たちに働きかける「多職種連携」が大事と考えられているのですが、そういった方々をどうやってサポートしていくのか、自分が心理職になったときに現場でどう活躍していくかを具体的に考えながら医学部の授業を受けたいです。

大学院医学系研究科 1年
しんどう なずな
進藤 奈瑞菜
岡山県倉敷市 出身

「防災士養成プログラム」には防災イベントや防災訓練に参加する活動があり、リーダーも経験。リーダーの視点とリーダーを支える側の視点、両方が学べたと振り返る。



支援の輪が繋がる/ 宇和島で 災害支援活動

高校生までは、人と関わることが得意ではなかった進藤さん。しかし支援活動を通して現地の人やボランティア仲間と繋がるうちに、その意識は変わりました。「災害は起きないに越したことはないけれど、起きないに繋がれない関係もある。悪いことばかりじゃないなと今は思います」

災害現場で活躍できる人材になるためにもっと勉強したい!

防災士 × 香大

養成プログラム

実践力